

各科の現況と展望

医局の現況

医局長 中井啓文

平成6年春から、前医局長赤石直之先生のあとを受けて、医局長をさせていただきます。名寄市立総合病院の医局は久保田宏院長、瀧本昌俊副院長、赤石直之診療部長をはじめとして、36名の常勤医（第1内科(5)、第2内科(5)、小児科(3)、第1外科(3)、第2外科(3)、整形外科(3)、脳神経外科(3)、産婦人科(2)、眼科(1)、耳鼻咽喉科(1)、泌尿器科(1)、皮膚科(1)、神経精神科(4)、麻酔科(1)）で、現在のところ構成されています。平成6年、平成7年とみてきますと、春に10名ほどの大勢の人事

異動がありましたが、その他の月にも数名の人事異動がありました。平成6年度は医局関係の講演会も、表1のように1月～2月おきに開かれ盛会でした。各科診療に忙しいにもかかわらず、表2のように日夜カンファレンス、検討会、抄読会が開かれ、症例の厳しい検討、書物よりの新しい知識の吸収がなされています。病院誌の平成6年度の論文、学会発表をみますと、平成5年度とくらべ質量とも充実しつつあるようです。このように全国学会への参加も飛躍的に増えたことから、常に自分の専門科にとどまらず、他科の領域のトピックスなども吸収しようということで平成7年4月24日（月）、第1回の学会報告会が開かれました（写真1）。医局でビールを飲みながら脳神経外科中井啓文、第1内科福澤純、皮膚科小池且弥の3名の先生方が順に発表演題のスライドを呈示して、出席学会の印象記、トピックスを述べ、深夜までホットなディスカッションが続きました（各先生の出席学会、演題名は表3）。これからも学会報告会は春、秋、1回ずつ開く予定です。

表1.

| | |
|--------------------------|----------|
| 名寄市立総合病院医局関連講演会 | |
| 1) 院内感染と対策—とくにMRSAについて | 1994年2月 |
| 講師 癌研究会付属病院内科部長 林 泉 | |
| 2) 中国医学講演会 | 1994年3月 |
| 中国医学（漢方）について | |
| 講師 秦皇島市中医医院院長 范 振域 | |
| 3) 病診連携講演会 | 1994年5月 |
| 癌の痛みからの開放と緩和医療（モルヒネ）の使い方 | |
| 講師 国立札幌病院麻酔科医長 佐々木和郎 | |
| 4) 院内勉強会 | 1994年7月 |
| 核医学イメージの実際 | |
| 講師 旭川医科大学放射線科医学講座教授 油野民雄 | |
| 5) 病診連携症例検討会 | 1994年8月 |
| 耳下腺腫瘍 | |
| 講師 名寄市立総合病院耳鼻咽喉科 安達俊秀 | |
| 急性胃腸炎 | |
| 講師 名寄市立総合病院小児科 藤保洋明 | |
| 6) 医局講演会 | 1994年8月 |
| 医学論文の書き方 | |
| 講師 札幌医科大学麻酔科教授 並木昭義 | |
| 7) 院内勉強会 | 1994年10月 |
| 慢性C型肝炎の診断と治療 | |
| 講師 旭川医科大学臨床薬理学講座教授 秋山 健児 | |

写真1

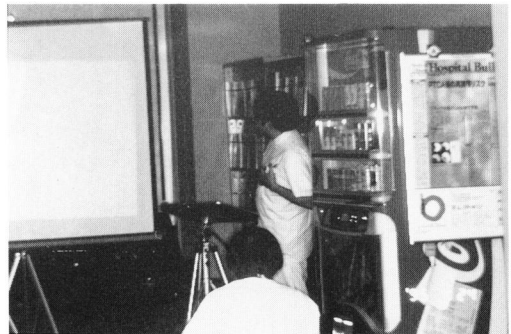


表 2. 各科のカンファレンス及び抄読会

第一内科

- 1) 総回診カンファレンス
4階西病棟処置コーナー（記録室）
火曜日 午後 1時30分から午後2時（第一内科医師）
金曜日 午後 1時から1時30分（第一内科医師、4階西病棟看護婦、薬剤師）
- 2) 第一内科・第二外科カンファレンス
2階中会議室
水曜日 朝 午前8時から午前8時30分（第一内科医師、第二外科医師）
- 3) 第一内科シニアアンジオ検討会
年3～4回 午後6時から午後7時30分
開催前に案内掲示（医師、看護婦、放射線技師、検査技師、医師会関係者などオープン参加）

第二内科

- 1) ドックのX線カンファレンス
毎週火・木 午後1時～内科3番診療室
- 2) 病棟との勉強会
月1回 2階会議室（時間、日時はその都度きめる）
- 3) 入院患者カンファレンス
毎週月・木 午後5時30分～
- 4) X線・内視鏡フィルムカンファレンス
毎週月・水・金 カンファレンス午後5時頃～
- 5) 術前カンファレンス（消化器系）
毎週火曜日 4階東処置室 午後5時頃～
- 6) 病棟カンファレンス
毎週月曜日 4階東処置室 午後1時～

小児科

- 1) カンファレンス
毎週火曜日及び金曜日の総回診前 13:30～
ただし、副院長の院外出張時は帰院後から
- 2) 抄読会
毎月1回（当院小児科医師3名・市立土別総合病院2名）
日時は土別と相談。場所は当院と土別と交互で行ってる。
- 3) HRP (high risk pregnancy) カンファレンス
隔週 原則として金曜日
小児科医、産科医、助産婦、看護婦

第二外科

- 1) カンファレンス（第一、第二外科）－術前検討
毎週金曜日 8:00～8:30 A.M 外科外来
- 2) カンファレンス（第二外科・第一内科合同）
毎週水曜日 8:00～8:30 A.M 中会議室
- 3) 抄読会（第二外科・第一内科合同）
毎週木曜日 8:00～8:30 A.M 中会議室

脳神経外科

- 1) カンファレンス（X線・症例）
毎朝8時 3階東ナースステーション
- 2) 抄読会（Neurosurg, J. Neurosurg, AJNR etc...）
毎月1回 火曜日 午後6時より 小会議室
月により第何週か随時変動

表 3.

- 1) 第24回日本脳卒中の外科研究会 (平成7年3月、東京)
 症候性血管攣縮予防のためのウロキナーゼとCa拮抗剤ジルチアゼムを用いた間歇的脳槽灌流
 名寄市立総合病院脳神経外科、旭川医科大学脳神経外科*
 中井啓文、佐古和廣*、佐藤正夫、川田佳克、滝沢克己、徳光直樹、木村輝雄、橋本学、米増祐吉*
- 2) 日本循環器学会学術集会 (平成7年3月、名古屋)
 完全左脚ブロック例における心室中隔領域の脂肪酸代謝と局所血流および左室壁運動との関連
 名寄市立総合病院第一内科
 福澤純、中西京子、岡田基、田中秀一、赤石直之
 旭川医科大学第一内科
 菊池健次郎
- 3) 第58回日本皮膚科学会東部支部学術大会 (平成6年9月、宇都宮)
 Borrelia afzeliiが分離されたライム病の1例
 (名寄市立総合病院皮膚科) 小池且弥、
 (旭川医科大学皮膚科) 高橋英俊、橋本喜夫、松尾忍、飯塚一
 (旭川医科大学寄生虫学講座) 中尾稔、宮本健司

第一内科の現況

第一内科医長 田 中 秀 一

当科は主に呼吸器・循環器疾患の診療を担当しておりますが、扱う疾患の性格から入院患者は外来から即日入院や救急外来から直接入院のケースが多くなっています。4階西病棟55床のうち第一内科として45床（うちCCU 3床）を使用しておりますが、同じ病棟に病床がある脳神経外科、皮膚科の病床を一時借用する事が多くなり各科にはたいへんご迷惑をかけております。

スタッフは1994年は医長赤石直之先生、医員田中秀一、福澤純、野村智昭、吉田亜由美でスタートしました。3月31日吉田亜由美先生が国立療養所道北病院内科に転勤し、4月1日にかわりに中西京子先生が着任しました。4月1日付で赤石直之先生が診療部長に昇格し、それに伴い私田中秀

一が医長に昇格しました。5月31日野村智昭先生が上湧別厚生病院内科に転勤し、代わりに6月1日岡田基先生が着任し、1994年6月1日から12月31日までは診療部長赤石直之先生、医長田中秀一、医員福澤純先生、岡田基先生、中西京子先生というスタッフで診療にあたりました。

入院患者数は、1994年1月1日から12月31日までで547名で、疾患別分類は表1.にあるように循

表 1.

| 疾患別 | 循環器 | 呼吸器 | 神経 | 腎・泌尿器 | その他 | 合計 |
|---------|--------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 患者数 (人) | 288 | 195 | 24 | 15 | 25 | 547 |
| (%) | (52.7) | (35.6) | (4.5) | (2.7) | (4.5) | (100) |